

ひかり

2021 年 1 月号



Purification

日本聖公会 三光教会

第 689 号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912 年(大正元年)11 月 2 日

幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。

(ルカによる福音書 2:40)

再び十字架を立てる I

「私に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、私に従いなさい。」(マタイ 16:24)

司祭 ヨナ成 成鍾

突然やってきて生活の有様を一変させた新型コロナウイルスは、教会のアイデンティティにも疑問や疑いをもたらしました。教会という名前で一同が集まって、賛美をしながら神様を礼拝し、食事や会話をしながら交わることが出来なくなってしまうからです。一度も経験したことのない出来ごとであるため、恐らく多くの方々が、これからどうなっていくのかという不安の中、そもそも教会とは何か、礼拝を捧げる理由は何か、キリスト者はどのような存在なのかということについて考えるようになったと推察いたします。

これは大変苦しい状況ですが、それでも、見る角度によつては良いチャンスとしても捉えられます。と言いますのは、あまりにも基本的なことであるがゆえに、普段は別に意識することなく過ごしていたことについて改めて考えるようになったからです。教会、礼拝、

交わり、宣教などのことは、神の民として召されている私たちの本質を表わす大事な部分です。思わぬ訪問客であるコロナによつて、その基本的な部分が私たちにとつてどのようなものだったのかについて省み、イエス・キリストという根本へと立ち返るための良いチャンスがもたらされたとも言えます。別の言葉で、十字架を立て直すひと時として捕らえても良いでしょう。

今私たちには、かつて三光教会の名前で旗の台という丘に立てられた十字架が、今現在ほどのようになっているのか点検をし、これからの 100 年の宣教のため改めて立て直すことが求められます。その具体的な内容について、聖公会の源流だと言われるケルト教会の十字架を用いて考えたいと思います。ケルト十字架の「縦の軸、横の軸、輪」という三つの部分で構成されますが、それには象徴的な意味が込められています。

「縦の軸」は神様との繋がりのことを意味し、礼拝／お祈り／聖書の黙想／教育などによつて保ちます。「横の軸」は人々、つまり世の中との繋がりのことを意味し

ます。これは世の中に福音を述べ伝え、御心を分かち合うこととして伝道／奉仕／社会宣教／改革などによつて保ちます。そのためには、縦の軸の礼拝／お祈り／聖書の黙想／教育などを通して御心を得ることが大前提とされます。そして「輪」は一致と循環のことを意味します。この輪によつて十字架の縦の軸と横の軸は結ばれます。輪こそ教会の組織、つまり、教会のリーダーとして教会委員会を始めとする諸委員会、また信徒奉事者、アコライト、聖歌隊などの諸奉仕団体のことを象徴すると言えます。輪によつて教会そのものを象徴する十字架に一致がもたらされ、一致による循環によつて成長が成し遂げられます。

引き続き次回に、十字架を構成する「縦の軸、横の軸、輪」はどのように結び合わさるのか。そして、どのように立てられるのかについて述べさせて頂きます。



旗の台ひかりっ子食堂 プレオープン

コロナ禍で学童も児童センターも図書館もいろいろ制限ができ、子どもたちの居場所がない。そんな声を受けて、成司祭から教会のある地元旗の台の子供たちに何かできないだろうか」という呼びかけがありました。

私を含め、まずは地元旗の台に住んでいる信徒数名に声がかかり、地元の状況の聴取からはじまり、司祭の呼びかけに応え参加させていただきました。ライン」を使って打ち合わせを重ね、成司祭のアイデアで「子ども食堂」を試しに開催することになりました。そして、旗の台ひかりっ子食堂プロジェクト」がスタート。

どうやって告知するのか、告知しても果たして来てくれるのか、すべてが手探り状態の中まずはやってみようということ、ポスター作製、保健所の許可、品川区や品川区社会福祉協議会などへの各種手続き、

地元の商店や企業への寄付や協賛のお願い、ボランティアの募集などを手分けして行いました。

たまたまポスター掲示をしている時に会った子ども連れのお母さんから、旗の台にもできるのですね。楽しみにしています」というのができるのを待っていました」家族で外食に行くのを控えていました」といった声をききました。また、児童センターにポスター掲示をお願いに行った際にも、旗の台地区には子ども食堂がなかったので応援していますよ」と声をかけていただきました。

地元から多くの期待と感謝の声を開催前にいただくことができたことが大きな励みとなり、11月7日(土)午後4時に販売開始。大量売れ残りを覚悟しつつ92食用意しました。短時間で告知も十分でなかったにもかかわらず、なんと88食販売。買っていたいた方は、大部分が教会と関係のない地元の方々でした。

自粛や制限の中でも自分たちができることは何か? 自分のできることからやってみるということを、

あらためて今回のことを通じて感じました。
(記・牟田実)



教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2021年1月号(第689号)

発行者: 司祭 成 成鍾 編集・印刷: 三光教会広報委員会